

Counseling Room

家庭問題カウンセリングルーム

第140回

公益社団法人 家庭問題情報センター ささきひろたか 佐々木 裕太

「服役中の息子のために」と

ひとりで頑張る父親

息子（50歳）の服役理由が、我が子（中学生）への虐待であることを、70歳の次郎（仮名）さんは妻にも隠しています。釈放されたら息子と二人、東京で暮らすつもりでしたが、健康を害し、身元引受人になることが難しくなっていました。それを知った息子が投げやりになってしまい、困っています。

次（次郎） 息子が東京で逮捕され、急いで上京すると、弁護士から息子が孫を虐待していたと聞かされました。息子は今、2度目の服役中です。1度目は覚醒剤でした。

カ（カウンセラー） 虐待ですか……。

次 孫は両親の離婚後、母親に引き取られました。母親が再婚してからというものの生活が荒れ、1度目の服役を終えたばかりの息子と一緒に暮らすことになりました。しかし、息子が再び覚醒剤を始めました。孫は中学校をサボって遊び歩くようになり、家を出してしまいました。

カ 半年後に保護された孫は、警察官に言ったそうです。「父親に虐待されていたので、嫌になって家出した」と。その後、お孫さんはどうなりましたか？

次 再び母親に引き取られ、今は落ち着いた生活をしているようです。

カ それは良かったですね。息子さんの方は、いかがですか？

次 刑務所からの手紙には「差し入れをしてほしい。早く刑務所を出て、地元でのんびりしたい」と書いてきています。「反省している」との言葉もありますが、孫への謝罪の言葉はありません。

カ 今、一番心配なのは、息子が釈放後に地元に戻り、服役理由を吹聴してしまうことです。そうなると、孫やその母親、私の妻や妻の連れ子までもが偏見や差別に晒され、地元に住づらくなってしまうのではと。

次 どういうことですか？
カ 実は、息子の服役理由を妻も地元の人たちも知りません。息子が地元に戻

ることで、孫を虐待していたという話が広がっては困ります。だから私が、息子を地元に戻さないための防波堤になろうと思ったのです。

カ 防波堤になるとは？

次 具体的には、釈放された時のために、息子と二人で暮らす住居を東京に準備しました。5年前の私の定年退職を機に単身で上京し、東京での新しい仕事も見つけ、息子には「二人で住む家を用意して待っているから」と伝えると、とても喜んでくれました。

カ 良かったですね。

次 はい。息子が小さい頃に、散々寂しい思いをさせてしまった罪滅ぼしの意味もあり、釈放後は私が一緒に住んで、息子のことを守ってやりたいという思いでした。

寂しい思いとは？

次 結婚後、私は妻子を実家に置いて単身赴任し、月に1、2度しか帰宅できなかつたのです。そのせいか、先妻は2歳の息子を置いて家を出ていき、数年後、私が再婚すると、息子は妻の連れ子に嫉妬していじめ、小学生になる頃には万引きもしていました。

カ それは大変でしたね……。

次 息子のことは心配でしたが、当時の私は仕事が忙しく、妻に任せっきりでした。その後、息子は高校を中退、不良仲間とバイクで暴走し少年院に入院、仮退院後は不良仲間の先輩を恐れていたの、関西に住む私の知人に預けました。

カ それからどうなりましたか？

次 関西では、暴力団組員と遊んでいたようですが、やがてその組員が怖いと言って、交際中だった女性（孫の母親）と地元へ逃げ帰ってきました。まもなく結婚しましたが、息子のDVが原因で離婚となり、息子は先輩に教えられた覚醒剤をやめられなくなっていたのです。

カ 息子さんは、誰かに頼りたいという気持ちが強いのでしょうか。

次 実の母親にも会いに行ったようですが「冷たくされた」と落ち込んでいました。

カ だから、次郎さんしか頼る人がいな

いのですね。

次 しかし私は、2年前に心不全で入院し、今も通院中のため、仕事ができなくなりました。それでも息子を見守るために、妻に仕送りをしてもらいながら、今も単身、東京での療養生活を続けています。

カ 次郎さんの病気のことは、息子さんには伝えましたか？

次 はい。「病気で働けなくなってしまい、身元引受人になることも難しくなりました……。釈放後は、どうか東京の更生保護施設に入って頑張ってもらいたい。私もお前のそばに住みながら、見守っていくから」と手紙に書きました。

カ 息子さんからの返事はありましたか？

次 「差し入れをしてほしい」とだけ書かれた返事が届きました。腹が立ち、情けなくなり、返信しませんでした。すると先日、息子から「親父、助けて！親父が身元引受人になってくれれば、直ぐに仮出所できる。なってくれないのなら、もう二度と親父とは思わないからな！」という内容の手紙が届き、息子に脅されたような気分になりました。

私なりに一生懸命、息子のために行動してきたつもりなのに……。

カ 息子さんは、次郎さんから引受人になれないと言われたショックや、手紙の返事が来ないこともあり、父親から

見捨てられたのではと、不安でたまらなかつたのでしょうかね。

次 私が息子を思う気持ちを、息子も分かってくれていると思っていたのに……。もう、どうしたら良いのか分かりません。**カ** まずは息子さんに面会し、次郎さんの率直な気持ちを伝えてみてはいかがでしょうか？

手紙に書けなかつたこと、躊躇されていた息子さんへの厳しい言葉も、目の前の息子さんの反応を見ながらならば、自然と対話できるのではないかと思います。

次 そうでしょうか……。

カ 次郎さんの年齢や病気のことを考えると、おひとり頑張るには限界があると思います。奥さまには全てをお話しして協力を求めているかがでしょうか。……。

次郎さんは結局、息子との面会も妻への相談も拒み、「防波堤になって、ひとり頑張る」と言い続けていました。そして、相談を終えた後「もう一度、手紙を書いてみるか……。」と、つぶやきながらお帰りになりました。

次郎さんの思いが伝わり、息子さんの更生への一歩が踏み

出せるようお願いながら、その後ろ姿を見送りました。

